

受講生の声

データやAIを「何となくすごいもの」ではなく、仕組みや前提を理解した上で考える力が身についたと感じる。特に、データの集め方や前処理の重要性、可視化によって情報の見え方が大きく変わることを学び、結果だけでなくその過程を意識して判断する姿勢が養われた。また、AIについても、できること・できないことや限界、社会に与える影響について考える機会が多く、技術を鵜呑みにせず批判的に捉える視点が身についた点は大きな成長だと感じる。今後は、この基礎的な理解を活かし、身近な問題や自分の専門分野にデータやAIをどう活用できるかを考えていきたい。

授業履修前まで人工知能は怖いものだと考えていたが、授業によって今まで持っていたイメージが覆された。AIの発達を恐れるのではなく、人間が上手にAIを活用し、更なるパフォーマンスの向上や作業の効率化を推進していくことがこれからの時代を生き抜く上で非常に重要であると実感することができた。

データによる分析の奥深さを改めて知ることができ、今後のデータ情報による考察の幅を広げることができるようになったと感じた。

この授業を通して、さまざまな事業分野で活用されていることを具体的な事例を通して理解することができた。これまでデータサイエンスは専門的で難しいものという印象があったが、身近な分野にも深く関わっていることを知り、社会の中でのデータの役割を意識して考えられるようになった点が成長だと感じた。

この授業を受けて一番大きく変わったのは、AIやデータサイエンスに対する「遠い存在」というイメージが払拭されたことで、AIの歴史から現在の活用事例などを基礎から丁寧に学べたおかげで、自分でも日常的に触れられるものなんだと実感できた。全体を通して、今のデジタル社会で本当に必要なリテラシーを身につけられた授業だと感じた。

データサイエンスやAIのことについて詳しくなれた。多分、自分で勉強しようとしたら内容が難しく挫折していたけど、授業を通してなら頑張って学ぼうと思った。

特に成長出来た、学ぶことができたと思うことはAI、ネットリテラシーについてで、大学に入り、よりネットや生成AIを使うことが増えたため今進化してる技術を知ると共にどのように活用してけば良いかを考えられるようになった。

教科書の内容だけでなく、外部の方々の講義を聴く機会が多く、より専門的な知識を身につけることができた。誤情報が出回りやすい時代であるため、この授業で学んだことを生かして見極められるよう、改めて気をつけたと思った。

動画を用いた授業形式が分かりやすく、データサイエンスを身近な事業や社会の事例と結びつけて理解することができた。専門的な内容も多かったが、実際の活用例を知ることによって興味を持って取り組むことができた。